# プログラム言語特論レポート02

author: M1 丹野雄太 number: 4555235023 date: 2024-01-23

repository: https://github.com/yttnn/haskell\_tokuron/tree/main/program\_lang\_report02

## 目次

- 必須1
- 必須2
- 任意3-1
- 感想

# 必須1

- すみません、まったく分かりませんでした!!
- 今回の課題、一つも解けなかったです...

## 必須2

(a)

• これは書くだけなので省略...

### (b) globalEnvを作る

- ガチで分からなかったので、ChatGPT先輩とペアプログラミングした
  - 。 builtInFnsを評価するのとかは、思いつかなかった
  - 。 foldrとか完全に忘れてた

```
globalEnv :: Env
globalEnv = foldr addBuiltInFn emptyEnv builtinFns
  where addBuiltInFn (name, def) env = updateEnv name (evalBuiltInFn def
env) env
evalBuiltInFn :: [Char] -> Env -> Val
evalBuiltInFn def env = expval (parseProg def) env
```

- これで試してみたが、fourthPowerやevenp、oddpが実行時エラーになった
  - 。 builtInFnsの順番に依存している状態になっていそうなので直す
  - 。 それが下のエラー

```
ghci> ev "evenp 4"

*** Exception: Prelude.head: empty list
CallStack (from HasCallStack):
   error, called at libraries/base/GHC/List.hs:1644:3 in base:GHC.List
   errorEmptyList, called at libraries/base/GHC/List.hs:87:11 in
base:GHC.List
   badHead, called at libraries/base/GHC/List.hs:83:28 in base:GHC.List
   head, called at ./Parser.hs:227:19 in main:Parser
```

• parseProg = fst . head . pProg . lexProgを見ると、関数合成しているので、pProgの戻り 値が空になっているのが原因か?

- ghci> globalEnvすると、同じ感じになる
  - 。 そもそも、globalEnvが壊れている気がするが、直し方分からない...

```
ghci> globalEnv
[("square", VClosure "x" (Bexpr Mul (Var "x") (Var "x"))
[("fourthPower", VClosure "x" (Apply (Var "square") (Apply (Var "square")
(Var "x"))) [("abs", VClosure "x" (If (Rexpr LessThan (Var "x") (Num 0))
(Bexpr Sub (Num 0) (Var "x")) (Var "x")) [("evenp", *** Exception:
Prelude.head: empty list
CallStack (from HasCallStack):
  error, called at libraries/base/GHC/List.hs:1644:3 in base:GHC.List
  errorEmptyList, called at libraries/base/GHC/List.hs:87:11 in
base:GHC.List
  badHead, called at libraries/base/GHC/List.hs:83:28 in base:GHC.List
  head, called at ./Parser.hs:227:19 in main:Parser
```

## 任意3-1

#### Paser.hs改造

- NewParser.hsがなさそうなので、Parserも自分で書いてみる!
  - 。 pFunでラムダ式をパースしているので、ここを参考に、pSFunを実装する
  - 。 BNFの通りに、pFormalを作り、それをpVariableがあった位置に置く
  - 。 pFormalがやることは、@があることをチェックして、pVariableを呼ぶこと
  - 。 実装は、pFunを見よう見まねでやる
    - pSeq, pSeqSndの使い分けがよくわからない(やりたいことは、パーサの結合?だと思うが。。)
    - とりあえず、パーサのコード見た感じ、pSeqSndを使えばよさそうな気がするためそう する
    - pFunはpExpr1の定義のところにいるので、ここにpSFunも登録しておく(よくわかってない)

```
-- Parser.hs

pExpr = pFoldAlt [pExpr1, pFun, pSFun, pLet, pLetrec, pIf]

------

pFormal :: Parser Token Token

pFormal = (pLiteral "@" `pSeqSnd` pVariable)

------

pSFun :: Parser Token Expr

pSFun =

   (pLiteral "lambda" `pSeqSnd` pFormal `pSeq` pLiteral "." `pSeqSnd` pExpr)

`pUsing` uncurry SFun
```

これで、一応それっぽくパースできるようになった

```
ghci> parseProg "lambda @x . x * x"

SFun "x" (Bexpr Mul (Var "x") (Var "x"))
```

- NewParserが提出ページあることを、出す直前に気づいた
  - 。 pFormalがタプルを使うようにして対応していることはわかるが、どんな動作をするのかまったく追跡できないと思った

#### CBNs.hs改造

- expval (Apply ..)に、VStrictClosureの対応をすればよさそうなので、やってみる
- 変更したコード
  - 。 Strictの時だけ、そのまま評価することが目的のため、SFunのときに特別なことをするようにした(かった)
  - 。 whereの中にs\_newenvなどのstrictの時に使うものと、v\_newenvなどの非strictのときに使う ものを書いた
  - 。 本当は、strictと非strictで別に分ける必要があるが、どう書けばいいか分からなかったので、と んでもないコードになっている

- コンパイルできなかった
  - 。 ApplyはExprを引数に持つからいいのでは?と思ったが違うことが分かった
  - Variable -> Expr -> Exprがどこから来ているのかが分からない
  - 。 これが分からない原因は、Haskell力の無さ

# 感想

- 受けてよかった&学部生のころにやりたかったなと思いました
- ただ、Haskellは自分の処理能力の限界を越えている気がしました...

- 。 概念は理解できたが、全く書けなかったです
- 。 手続き的でないので、そもそもの考え方を変える必要がありそうかなという印象です
- 型がドキュメントだったり、高度な抽象化ができるのは独特で興味深かったです
- ここまで書けないと悔しい&数学と絡みを理解したいので、もう少し勉強しようかなと思います
- ありがとうございました